

發行所
 大阪市阿倍野區北畠
 大阪府立阿倍野
 高等學校新聞部
 發行編集人
 京崎孝

行われれば夏休み中

つて、やつと卒業して勉學に邁むことが出来る様になつた。一方、荷阿部野町高女が校合未解決のまゝである時、又以前にまゝして重大な問題を惹起して來た。それは現在着議されてゐる、校舎新築費合問題である。その時期もこの夏休み中に行われる確定である。

現在では男生徒の男女共學は女生徒と男生徒のお互の美點をひき、共に理解をひき、男女平等の立場から職業に勵まんが爲である。状態（九學期）の實施一

方教師組合の對策として別にこの系統合には反對してゐる模様はないので、日本の教育の水準を落さない爲ならと賛成してゐる。しかしその實成にも條件があつて、一、學年の中途に於て學校を變遷するため生徒は迷惑であるため好ましくない。

二、高等學校としての基準に合つた教育をなさればならぬ。

三、學校數が減つても、定員を減らず様ではなら

住高では暴風をまいた下駄には禁止し、治まつたの模様になつた。住高生徒の注目の的となつたその生活面での活動で、先づ第一に問題となるのは、夏休み大の生徒規則である。今夏南大の高等學校の（名は未決定である）會が出来、各校の自治會員等も出席し、學園會をよくする爲に色々と討議

住高生活部の近況

且の風景

たつてゐる。さういふ言論は、
いつていた。
先づ第一に、やはり父兄問
の點で問題になつて居るの
のであるが男女共學の問題
が切らぬところだ。父兄側
には別に質問もなく「男女共學を
行つてゐる生徒の考えとして」
男生徒は、
共學の結果、今まで解らな
かつた女の子の個性というもの
がよく理解出来るが、女は
あまりにも學力が低下して
ゐるために男の方では兩校
されるが、先づ今回は兩次
協定のもとに行われるであろ
う。その結果が良好ならば
は今後も續々と色々な事が
協定されてゆくであろう。彼等
は阿部高自治會がつと先
任務があり、勉勵願ひがあ
りまして、も少ないものを苦に
した意見であつた。

第二の問題として下駄箱
の件が上げられた。これに
まつ生徒側の意見も多くあつた
まづ父兄側の見目は禁止とな
つたといきまつ、即ち下
駄箱をはいて足をおく學校へ
ゆくなりとは風紀が大へん亂
れるのをこれを一切取り止
めたと説明した。

父兄側の意見としては、
下駄箱はきていても上つた
生から離れてしまふことと言
ふ様な意見を持つてゐたこ
ころ角、我々としては、今
後の活潑なる住生活との協定
の結果を注目すべきだ。

又生徒側として、この間
は我々が討論して許可された
ものはなく、自治會があるか
否かの案が職員會議議決され
しめた案である。もししも
また生徒の討議した事ながら
下駄箱は許可ということ事に
するだらうとの意見であり終
結論としての父兄側より學術
當局への不允許ばかり禁止
法を改良する線に申出るのである。

なすなりくり、考査を理解
方面が発達し、太腰良しく
思ふ。しかし、考査後、今
暇迄の間が中途半端なもの
になつてしまふことは
分らない問題だから、理論
的に解決しようとする事は、

問では波亂をまねいた下
なき禁止も治まつたかの

協定のものが、先づ今回も兩校ふ様の意見を持つてゐる。それから、我々としては、今後活版屋の住好との協定の結果を注目すべきだ。

協定のものと行われるであらう。その結果が良好ならは、今後も續々と色々な事が協定されるであらう。彼等は阿部高自治會がもとと先

が良く、人の師といふものがよく理解出来るが、女はあまりにも學力が低下してゐるために男の方ではずつと生かされて來てゐる。父兄側の意見としては、下駄ばかりいづつとつた生かから離れてしまふだ、と言ふ様な意見を持つてゐる。

結論として父兄側より學力アップの意見が出てゐる。當分へこの不駄ばき禁止法案を改良する線に申出る

なすくなり、車と理解方面が發達して、太變良い。思ふ。しかし、検査後、眼迄の間が中途半端なものになつてゐる。これは何分な問題だから、理論

の意見を代表してゐるか否かは諸君の御判断にお任せする。

「一年」この制度は、いふものは、實施する前は色々批判もされて見ましたが、やつて見ると、表面は別にアキラも出ず、我々も別にアキラも出ず、それで順應して行けて、それでいてその理、それはそれで目指す所のものは、案外達せられていない様で、

二期制についてですが、これは實施して未だ二年にも間、これが大抵無理が七時開の授業、從つて勉強は遅くなる筈でしよう。しかし、この點は、二年の方がよく云つておられる様な「〇〇先生の進捗は物凄く速い」「××先生は不意の試験を非常によく行われる」とか云う様にはなく、比較的に順手に思ひます。

以上、色々欠點もありますが、色々、五日制の魅力は、二日間、五日制の魅力は、二日間の休日、三日間の休みのことです。

先づ、五日制の結果の良くなかつた根本原因は、師宅の間が遠く、家庭に於ける學業の妨げが、家庭に於ける學業の妨げが、

出席狀態良好

[illegible]

不完全な道徳を我々

る。即ち、体面の問題だ。あるかたも「……總ての人の一言のもとに屈しては、我が個人として、その体面の問題を扱扱、時、時、……」と、

あるかたも「……ある個人々々としても同じ事である。我々の感情的衝突、意見相違による衝突……その間隙で、多くは……」

經完全人間の成育は組織的なものだから、我々の如き個人々々の間に、いかに気配を燃えさせるか、いかに団体の中心を何等事なく進み行く事は要求されるのか、

阿高を借用中の松虫中
ひと思えばランニング

(翌月)
開分の豫習復習をする事もあつたが、さて土曜日が来るのと宿題が出る。その五日間この疲勞と一緒に心にのしかけてつ實にやむきれない。こんな日々に續く内に検査が始まるのだから一査査がはじまるのを待てぬ。二二期制となつても、實際上試験の數は一向に減らないので、考査範圍が廣くなつてゐる。

三年一月一日が淺く、確かな事はよくない。

里中(阿部野四郎)並びに文學(阿部野四郎)の中に文を再度尋ねる事にした。新制中學の授業も一度見學しようというので我々は五時出かけた。授業がすばり早い。今日のは五日制である新制中學には及び我々と同様に一日に六時間、七時間といふ授業時間ぶりであつたが其日は既に六時間目が終り、三、四組だけが七日間の授業に入つてゐた。

ウ一枚の先生が熱心に黒板にドンドンの大きな歌をえ、それを生徒が靜かに歌ひ廻しつゝ度々三階の廊下の中へ入つた。ここには授業をして居る教室の掃除をした。教室の掃除中のぞくと女學生ばかりで掃除をして男生徒は、けうき叩きながら生徒は、掃除を取つたりと少しも掃除をしなかつた。

を煩したのであります。
PTAの發足を見まして

からも、選上の諸問題と
經濟的の爲に諸問題と
びに父兄に對して甚だ御迷
惑をおかけ致しました。
願ひで内心批判したもの
が、多くなりました。

さて、昨秋長田御前寮
長の豊中高校校長に御來校
と住吉高校と御參務の志賀
學校長の御往任にて、新
學校PTA共在と思ふは變動
の多い年度でありました。
幸へた度員によつて委員の

情かけて居る事は事實であ
る。だが己の環境を生感す
る事こそ、よりよく生感す
うとする者の心がきえな
ければならぬ。環境に順
應せなければならぬ。しか
し環境に安んじ服従しては
なくして、畢竟環境を生か
すと發するもの吾々自身に
あるのである。さてあまり
も反省がちに文を進めてき
ても思ひます。

故後、次を以て學政的にこ
ろに學科を充つたりし
が學校に、皆條が氣をと
つて、學條を美しく、たつ
つといふ、今更、生監部とし
又、今更、生監部とし

學校を規律正しくする
との課にわけずした
風紀の躍進と清掃舞です
として、これによりて
としていて、そのちや
かと思ひます。

ない。しかし阿部高生活

改正するの實行委員會議の振
興と改善の實績を期して、第
二年に入るを得ました事は
誠に御同慶にたゞは次第で
友人なしにびハースト夫
人、夫の美し及び友情と協力の
結果米國に創始せられ、五
十餘年を経て現在相當の成
果をあげてゐるやうであり
ますが、我國ではまだ習作
治める様のみぞいた。

重なる矛盾は消滅し、情緒
やうなる矛盾は消滅し、情緒
の事柄が續出してゐる事
は阿部高にとつても有益で
もあり。吾々轉校してゐる
も有益であると感服してゐ
る次第である。今後何事
に於いてもよりよい成果を
得るべきである。

七月二十五日

一ノ八 教會 公助公

生徒諸君に望み、皆さん

お祈り致します	生年次後共絶大に御支持を 仰願ひ致します。最後は過去 一ヶ月間の皆様の御指導と御 協力、衷心より感謝申し上げ ぶ。	行なわれし衆生の重なり常に にわたる私として、最後の なす所として、何の様な強 い態度で、望まざるを得ない かたが、然し今後にはつとめ 解放的な、放任的な態度で 行くつもりと思っております。
八月三日	二ノ四 般會　於生津 三ノ六 級會　於嵐山 二ノ五 々　　　助松 々　　　助松 々　　　案面	

衛としての指導を、能率
3 書くことに上
的に自己を表現

4 話す事によつて効果的に自己を表現する能力 b 社會	1 歴史、地理、經濟、政治、社會などの基礎的な諸概念の知識と理解 2 問題解決のたぐひに批判的な思考をなしたる能力 3 他人の必要と權利との尊重、ならびに市民的技術の獲得	4 實際場面において科學的な知識を使用する習慣がある。 3 創造的な能力(1)(2)の生起する場合 2 音樂的鑑賞 1 音樂の創作	4 實験場面の指導に、利得もなし得るものではなく、また利用しな 3 利得もなし得るものではなく、實験の指導に、利得もなし得るものではなく、また利用しな 2 利得もなし得るものではなく、實験の指導に、利得もなし得るものではなく、また利用しな 1 利得もなし得るものではなく、實験の指導に、利得もなし得るものではなく、また利用しな	4 話す事によつて効果的に自己を表現する能力 b 社會
4 話す事によつて効果的に自己を表現する能力 b 社會	1 歴史、地理、經濟、政治、社會などの基礎的な諸概念の知識と理解 2 問題解決のたぐひに批判的な思考をなしたる能力 3 他人の必要と權利との尊重、ならびに市民的技術の獲得	4 實際場面において科學的な知識を使用する習慣がある。 3 創造的な能力(1)(2)の生起する場合 2 音樂的鑑賞 1 音樂の創作	4 實験場面の指導に、利得もなし得るものではなく、また利用しな 3 利得もなし得るものではなく、實験の指導に、利得もなし得るものではなく、また利用しな 2 利得もなし得るものではなく、實験の指導に、利得もなし得るものではなく、また利用しな 1 利得もなし得るものではなく、實験の指導に、利得もなし得るものではなく、また利用しな	4 話す事によつて効果的に自己を表現する能力 b 社會

校以來、時のながれは涯

く断つ。我々一日一日不斷の努力に依つて、この遠の道程を歩むのである時は流れである。轉校しては三月月を経過した過去を追憶して見るには一つの自己反省の道程の。今吾々は若ならずして、過去の追ふ人となつて、現在を我部としてもは住高に生監部としてもは住高に種々交渉	学園規則案を提出する時に住高と合同で行う豫定であるその時の阿高側側の提案としては、先日できた生徒心通を提案する積りで住高との協定もどんくして行く積りであります。校舎内での下靴問題が住高と阿部高とに違ひがある様であるけれども、種々交渉	八月十二日 八月十七日 八月二十四日 八月三十一日 八月十五日 八月十八日 八月二十一日	級會 級會 級會 級會 級會 級會 級會	於高師濱 於本校 於本校 於本校 於本校 於宮屋川 於生瀬
--	---	---	---	--

今日吾々の周邊に行動する環境は常に吾々の精神的生活の上に動

[illegible]

・しかし阿部高生活を

なる矛盾は消滅し、情緒
 事柄が醸出してゐる事
 部高にとつても有益で
 び、吾々轉校生にして
 益である。今後何事
 てもよりよい成果を
 のぞみたい。

七月二十五日
 一ノ八 校 友 公

現出出来るものまで掘取
 る事が出来る。取柄、構成
 台詞、演技全て暗示的要素
 に富み、想像力を立てる
 の放散劇が出来ない時それ
 は演劇と映画と違ふ立派な
 演劇として存在出来るだ
 らう。放散劇はそれ云う想
 像力、対照とした藝術、暗
 黒な藝術である。それ云う
 意味ではむしろ演劇より上

中
 出

諸君に望み、皆さんか
々の悪評を得ているが
この戦いの行動は非常

[illegible]

健康状態の獲得

近代的民主的社會における家庭の位置について	家庭	近現代の家庭の参加
家庭生活の理想を實現する望ましい態度	理解	家庭生活の理想を實現する望ましい態度
家庭生活における實技	理解しな	家庭生活における實技
外國語	理解しな	外國語
話す技術	話す技術	話す技術

針の穴

駄ばきが禁止になつたが果してこれは生徒、學校の三者の協定に行われたるうか。一に自治會では議員が會の可決したが、當時の様子をふり返つて、▼自治會は禁止會される日迄、何ら具體事を生徒に示さなかつ

ではない。▼あの頃は
前で、みんな中間考査

に「ばい」だったからに
 へ。自習會は即刻中止
 再び生徒の意見をよ
 りて是非かを定め、
 を學校當局へ報告して
 づべさだ。▼第二に、
 は父兄の總てが知つて
 所だつたであらうか▼
 。Aが組織され、生徒
 學校の三者協力が叫
 る折に、この様な

慎重にやるべきでは
なうか。▼話變つ

所、これが出来なかつた。中間考査の結果に於いて、二年の不勉強を暴露してしまつた。な成績が會つてゐた女學校の四、五年にだらうか。▼二年生で、數學のチビ試験を正せ」として3cm

日發行豫定の所編集
及び印刷の遅延によ
日が二十九日に遅れ
ことを深くおわび致

美を味うもの

望月信成

演劇と社會性

山村功



青年

黒川御實

學校訪問記

帝塚山の巻

帝塚山の麓に、緑豊かな校舎が並ぶ。訪ねて来たのは、阿倍野高校の先生方と生徒さんたち。まず、校長先生のお話を聞いた。学校の歴史や、これからの目標について、熱く語ってくださった。次に、教務主任先生の話。授業の工夫や、生徒の指導について、詳しく話を聞いた。生徒さんたちの話も聞いた。学校の生活や、部活動について、いろいろと話を聞いた。最後に、体育館で、生徒さんたちの練習を見学した。元気な声と、熱い思いが伝わってきた。



阿倍野高校の校舎

この学校は、創立以来、多くの優秀な人材を輩出してきている。その理由は、先生方と生徒さんたちの熱意と努力にある。これからも、より一層の発展を遂げることを目指している。今回の訪問、大変勉強になった。ありがとうございました。

演劇は、人間の心を映し出す鏡である。社会の現実を、舞台上で再現することで、観客の心を揺さぶることができる。演劇は、単なる娯楽ではなく、社会への批判や、人間性の探求を目的としている。演劇を通じて、私たちは社会の課題を認識し、解決の道を模索することができる。演劇は、私たちの生活と密着した存在であり、社会性を育むための重要な手段である。

スフィンクス

城戸瑞男

スフィンクスは、エジプトの象徴である。その神秘的な姿と、強大な力によって、人々を魅了してきた。スフィンクスは、文明の守護者であり、知識の守護者でもある。その存在は、人類の歴史と文化を象徴している。スフィンクスを模した像は、世界各地にあり、人々の心を惹きつけている。スフィンクスは、私たちの心を導き、未知の世界へと誘ってくれる存在である。

又もや全国優勝か!

ソラトボールの前途

ソラトボールは、近年注目を集めているスポーツである。その競技性が高く、観戦性も優れたスポーツとして、多くの人々から支持されている。ソラトボールは、全国大会でも優勝を収めており、その実力は折りよく知られている。ソラトボールの前途は、非常に明るい。今後も、さらなる発展を遂げることを目指している。ソラトボールは、私たちの生活を豊かにする存在である。

運動部のホープ

軟式野球部

軟式野球部は、今年度の大会で優勝を収めた。これは、選手たちの努力と、指導者の指導の賜である。軟式野球部は、今後も、さらなる発展を遂げることを目指している。軟式野球部は、私たちの学校を代表する存在である。軟式野球部は、私たちの誇りである。

水泳部

水泳部

水泳部は、今年度の大会で優勝を収めた。これは、選手たちの努力と、指導者の指導の賜である。水泳部は、今後も、さらなる発展を遂げることを目指している。水泳部は、私たちの学校を代表する存在である。水泳部は、私たちの誇りである。

体操部

体操部

体操部は、今年度の大会で優勝を収めた。これは、選手たちの努力と、指導者の指導の賜である。体操部は、今後も、さらなる発展を遂げることを目指している。体操部は、私たちの学校を代表する存在である。体操部は、私たちの誇りである。



（写真は、部活動の様子）

制服を定めよ

制服を定めよ

制服は、学校の象徴であり、生徒の統一感を醸成する重要な役割を果たしている。制服を定めることは、学校の伝統と文化を継承し、生徒の意識を統一させるための有効な手段である。制服は、生徒の心を一つにし、学校生活を送るための重要な道具である。制服を定めることは、学校の発展と、生徒の成長に貢献するものである。

ラジオドラマの感想

ラジオドラマの感想

ラジオドラマは、音だけで物語を伝えるという独特の表現方法を持っている。ラジオドラマは、聴き手の想像力を刺激し、物語の世界へと引き込んでくれる。ラジオドラマは、私たちの心を豊かにする存在である。ラジオドラマは、私たちの生活を豊かにする存在である。

甲子園大会

甲子園大会

甲子園大会は、高校野球の最高峰である。甲子園大会に出場することは、多くの高校にとって大きな目標である。甲子園大会は、選手たちの努力と、指導者の指導の賜である。甲子園大会は、私たちの学校を代表する存在である。甲子園大会は、私たちの誇りである。

珍念の珍プレー

珍念の珍プレー

珍念の珍プレーは、試合の中で起こった珍しい出来事である。珍念の珍プレーは、観客の心を惹きつけ、試合の盛り上がりをもたらした。珍念の珍プレーは、私たちの学校を代表する存在である。珍念の珍プレーは、私たちの誇りである。

トピック

トピック

トピックは、学校のニュースや、生徒の生活に関する話題である。トピックは、私たちの学校を代表する存在である。トピックは、私たちの誇りである。

卓球

卓球

卓球は、今年度の大会で優勝を収めた。これは、選手たちの努力と、指導者の指導の賜である。卓球は、今後も、さらなる発展を遂げることを目指している。卓球は、私たちの学校を代表する存在である。卓球は、私たちの誇りである。

東京に出場

東京に出場

東京に出場することは、多くの高校にとって大きな目標である。東京に出場することは、選手たちの努力と、指導者の指導の賜である。東京に出場することは、私たちの学校を代表する存在である。東京に出場することは、私たちの誇りである。

排球部

排球部

排球部は、今年度の大会で優勝を収めた。これは、選手たちの努力と、指導者の指導の賜である。排球部は、今後も、さらなる発展を遂げることを目指している。排球部は、私たちの学校を代表する存在である。排球部は、私たちの誇りである。